

多田ヶ嶺

平成29年10月号

発行 小浜第二中学校 電話52-2918

☑ 小浜二中「学校日誌」 毎日更新しています

体育祭を終えて - 努力の壺 -

校長 西川 芳夫

残暑もやわらぎ、コスモスが秋風にゆれる頃となりました。保護者・地域の皆様には、体育大会に大勢の方々に御来校いただき、温かい御声援をありがとうございました。おかげ様で、生徒たちは心に残るすばらしい体育祭を創ってくれました。私は生徒たちからたくさんの感動をもらいましたが、特に次の2点にすばらしさを感じ、生徒の成長をうれしく思いました。

一つ目は応援です。今年度は応援の部に加えて、応援旗の部も加わりました。応援には、それぞれの色にテーマがありました。テーマにそった応援の振り付けがあり、さらにそのテーマが応援旗に美しくデザインされていました。どの色もテーマが工夫され、一糸乱れぬ全員の美しい動き、迫力があり、魂のこもったレベルの高い応援でした。応援をやりぬいた後の笑顔と涙…。生徒たちの一生懸命さにこちらも目頭が熱くなりました。3年生のすばらしいリーダーシップ、それに応えた2年生・1年生。伝統をしっかり引き継いでくれることでしょう。

二つ目は開閉会式の生徒たちのきびきびとした動きです。生徒会の取組である、いかに速やかに集合できるかを競う集合コンテスト、校歌を大きく歌うBKTコンテストなどの成果が発揮できました。二中学生のさわやかで力強い集団行動が披露できました。閉会式では、各色の応援団長が呼びかけ、生徒全員で肩を組んで校歌を歌いました。同時に教員も肩を組んで校歌を歌いました。「これが二中！」と、私は思わず胸が熱くなりました。

閉会式の後、各色のテント前で生徒同士がお互いのがんばりをたたえ合うミーティング、胴上げ、グラウンドは温かい雰囲気になりました。体育祭を通して、二中学生の絆が大いに深まり、生徒たちはこれまでの二中の伝統に、新たな伝統を刻んでくれました。

集会で、体育祭での生徒のがんばりをたたえるとともに、次の話をしました。



二中学生が閉会式で肩を組んで校歌を歌っている頃、福井市でも大きな感動がありました。桐生選手が100M走で、日本人で初めて10秒の壁を破ったのです。

桐生選手は高校三年ですでに10秒01という記録を出しています。ですから、大学に進んで10秒を切るのは時間の問題だといわれてきました。でも、どんなに努力しても10秒は切れません。周りの人たちからは、いつも期待され、そのプレッシャーは大変なものでした。そして、大学四年、それも最後の大会で10秒の壁を破ったのです。4年間、走る技術やトレーニングの仕方を考え、あきらめずひたむきな努力を続けた結果です。

桐生選手の快挙から、私は「努力の壺」の話の思い浮かべました。人は何かを成し遂げようと思ったとき、神様から努力の壺をもらうそうです。でも、その壺はいろいろな大きさがあり、その壺はもらった人の目には見えません。そして、人は何かを成し遂げるために、その壺の中に「努力」を入れていきます。それが少しずつたまって、いつか、壺から「努力」があふれる時、目標としていたことが成し遂げられるというのです。

でも、自分はこんなに努力しているのに、なぜ結果が出ないのかと思って、投げやりになったり、投げ出してしまうことがあります。それは、努力の壺の大きさが分からないので、努力をどれだけ続ければよいか、わからないからなのです。もしかすると、あと1日でできるようになるかもしれないのです。これまで苦勞してがんばっていた努力の分は、少しずつですが確実にたまっています。ですから、あきらめずに、休まずに、壺の中に努力を入れていけば、必ずあふれるときが来るということですね。桐生選手の壺はきっと大きな壺だったのです。努力を4年間ため続けて、やっと壺から努力があふれ、10秒の壁を破りました。

体育祭、皆さんの力で見事に成功させ、多くの人を感動させてくれました。皆さんの努力で壺から努力があふれました。さあ、2学期、皆さんは次は何を成し遂げますか。どんな壺にどんな努力を入れていきますか。

10月の生活目標 二中を美しくしよう

最近の清掃の様子はどうですか？体育祭の後に、清掃に関して集会を行いました。確認した内容を意識して取り組んでいるでしょうか？まずは自分たちが使っている二中の校舎を、少しでも美しくできるように心がけてほしいと思います。



少し前になりますが、学校に次のような電話がありました。それは『バイクで倒れて困っていたところ、二中の生徒が助けてくれて大変うれしかったです。ありがとうございます』という内容でした。二中学生の中に美しい心の持ち主がいることをうれしく思います。

清掃を頑張って校舎を美しくするのはもちろん、上の内容のように、自分たちの行動や言葉も美しくできると、本当に「二中を美しく」することができると思います。一人一人の美しい心をぜひ大切にしていきましょう。

地域社会の中で、二中学生としての自覚を持つ

上の話とは逆になりますが、ルールやマナーが守れない一部の生徒のために、苦情やお怒りの声が寄せられることがしばしばあります。次の点に関してのご意見です。

【自転車通の登下校中のルールやマナー】

集会や各学級で何度も話をしていますが、『道いっぱい広がって危険である(並進)』『ノーヘルで登下校している』『指定通学路を通らない』などの行為に、厳しい目が向けられています。さらに最近の自転車を見ると、「スクールライフ」の約束事(p18)に違反をしている自転車(特にハンドル面)や二中の許可証シールのはっていない新しい自転車もあります。

みなさんは地域の一員であり、地域の方々にお世話になっています。地域、PTA、警察の方々など、大変多くの方々が見ています。常に二中学生であることを自覚し、自分たちの通学のあり方をもう一度見直してください。また、ご家庭でも通学時のルール、マナーについて話し合う場を持っていただけるとありがたいです。

登下校時の学校のきまりについて

①通学路を守る。

(交通量が少ないことや道路の幅などから考えられた安全な道を通ること。)

(なお、通学路を変更する【医者、病院、塾などで寄り道をするなど】場合は、必ず、担任の先生に申し出ること。)

②買い食いはしない。

(余計なお金は持って来ない。)

③ヘルメットは着用する。

(事故時には必ず自分の命を守ってください。自分の命を大切にしよう。)

小浜二中

検索



毎日更新中!



- ・毎月、お忙しい場合は、サインや一言でも結構です。
- ・保護者の声については次号で紹介させて頂くことがありますが、ご了承ください。

二中学校だより

多田ヶ嶺 10月号 保護者の声 年 組 保護者氏名

部活動コーナー

部活動担当 古田哲也

【初陣、2年連続男女アベック優勝!!】

9月6日(水)に行われた若狭地区中学校駅伝競走大会において、本校の駅伝部が男女ともに総合優勝という素晴らしい結果を収めました。男子は接戦をものにし、女子は力の差を見つけての優勝でした。特に、今年度は3年生が主力として力を発揮してくれました。その3年生の多くは1・2年生の頃から駅伝部に参加し、長い時間をかけて着実に力をつけてきました。このことは今回の結果に大きくつながっているはずですが、また、今年は自ら志願して駅伝部に入った人も多く、例年にないにぎやかさがありました。そして、1・2年生も暑い中での練習でしっかりと力を伸ばし、来年に期待がもてる走りを見せてくれました。

去年の先輩からつないだたすきを見事に受け取った今年の駅伝部。来年にも期待がかかります。さて、そんな駅伝部ですが、10月3日には県の駅伝競走大会に出場します。今一度、駅伝部のメンバーに温かい応援の言葉を贈って送り出そう！健闘を祈っています！

駅伝部 メンバー

年	組	男子
3	1	片山 侑飛
3	2	四方 滉大
3	3	森田 希望
3	4	的場 光生
3	4	片山 翔月
3	5	坂 竜汰
3	5	上川 学斗
3	6	大谷 夏輝
2	2	東 晃成
2	3	岡本 凌空
2	4	田邊 勇人
2	5	北村 亮輔
2	5	欠野 太陽
1	1	石本 隼大
1	1	鈴木 爽和
1	1	天藤 慶



暑い中での練習、がんばっていました！

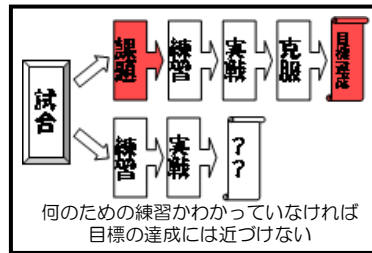


【初陣！新人戦！】

夏休み頃から2年生を中心とした新体制で練習に取り組んできました。新人戦はその成果を試す場となったと思いますが、どうだったでしょうか？

試合が終わった後「課題」が思い浮かんだでしょうか？ここがうまくいかなかったという部分です。技術面、精神面、チームワーク…様々な面で課題が浮き彫りになったはずですが、その課題に向き合わなければ、夏の大会では必ず決定的な場面でその課題を解決しなかったことが致命傷となります。結果だけを見て、喜んだり、悲しんだりするのはなく、試合をふり返って今後につなげることが大切です。

さて、県大会につながるチームもあると思います。県大会は課題がどれだけ改善されたかを試す機会です。次の試合に向けて顧問の先生と相談しながら、課題の解決に向けて地道に練習に取り組んでいきましょう。



【体育祭を彩る作品】

体育祭期間中は芸術部の作品が玄関ホールに展示され、体育祭の雰囲気を盛り上げてくれました。それぞれの作品には人物が描かれており、これは団長の姿を示しているそうです。一週間もかけて制作してくれました。芸術部の皆さん、ありがとうございました！



二中学校だより

多田ヶ嶺10月号 生徒の声 _____ 年 組 氏名

二中学生徒会～代替わりを迎えるにあたって～

生徒会担当 太田 祐貴

もうすぐ3年生がリーダーとして運営してきた生徒会活動が代替わりを迎えます。昨年度の後期と今年度の前期を通して、29人の3年生が執行部や委員長として活躍してくれました。副委員長を含めるともっと多くの数になります。この1年間の生徒会活動をふりかえり、代替わりを迎えるにあたって、労いとエールを贈ります。

「二中をよりよくしよう」「できないことをできるようになろう」という思いのもと、「Two hundred ひじきミッション」をはじめ、これまで数々の企画・運営が行われてきました。すべては紹介できませんが、代議員会による「1分前着席コンテスト」、文化委員会による学校のマナーについての「二中川柳」などもその例です。購買・文化・体育の各委員会主催の生徒集会もありました。

委員長は、就任後のリーダー研修会で、担当の先生と1対1で相談しながら活動計画案を立てました。委員長として臨む生徒総会や初めての委員会の司会など、数々の緊張する場面を立派に乗り越える姿がありました。月二回の委員会に向けて、内容や進め方、新しい企画の打ち合わせをするために足繁く担当の先生のところに通う姿がありました。そういった姿が「美しいな」と思い、活躍を見てきました。

私は、執行部の昨年度後期チームと今年度前期チームと活動をともにしてきました。執行部のメンバーは、朝のあいさつ運動、昼や放課後の活動、集会のあいさつ文や司会原稿の作成のため家に持ち帰ってやる作業など、自分の時間や力を二中のためにたくさん費やしてくれました。大変さゆえに嫌になることもたくさんあったそうです。しかし、「執行部の仲間と活躍できて嬉しかった」「みんなでやり遂げる楽しさを味わえた」「もう終わりだと思わずさびしい」といった感想を持って役目を終えていきます。初対面の人もいて、どこかきこなかったチームが、任期の終わりには、どこに連れて行っても恥ずかしくない立派なチームになっている喜びは、担当としてとても大きいものでした。

この一年間、3年生は本当によく頑張りました。集大成である体育祭でも、二中としての新しいチャレンジに対し、期待以上の成果を残してくれました。生徒会にとって、新しい扉をたくさん開けて、次につながる実績をたくさん残してくれました。本当にありがとう。そしてお疲れさまでした。リーダーとして、そしてリーダーに協力する立場として経験したことを、ぜひ次のステージで生かしてください。

そして、2年生。新たなリーダーは今、胸の中にあるやる気を、二中のために存分に発揮してください。「大きな気持ちで、チャレンジ！」これが何よりのエネルギーとなり、苦しみの先の楽しさにつながっていきます。1年生は、3年生が見せてくれた姿と2年生がこれからチャレンジしていく姿を、目で見て、心で感じ、来るべき日にそなえてください。

生徒会活動は、先輩から後輩へ、前期から後期へとつないでいくものです。二中学生会のさらなる発展を期待して、今後もできる限りのサポートをしていきたいと思っています。



保健だより

歯に関する保健指導が終わりました

小浜第二中学校 保健室

9月14～20日に保健の授業で「歯に関する保健指導」を全校生徒に実施しました。福井県の小中学生のむし歯の割合が、全国と比べて高いため、昨年度から行われるようになりました。

内容は「歯や口の役割」「歯周病の原因や症状」「全ての歯と

歯肉のみがき方」が中心で、中学生になると、歯ブラシの持ち方や歯に当てる力加減、ブラッシング技術等も上手く、小学校で身に付いた習慣が生かされていると感じました。ブラッシングでは、一人ずつ歯垢染色剤を使って歯垢を染め出し、みがき残した場所と歯肉の健康状態を確認しました。



大切なのは、今後、毎日の生活の中でどれだけ実践できるかということです。お子様が歯みがきをする時に、ぜひ「上手くみがけているね」等、励ましの言葉をかけていただくとありがたいです。また、むし歯の治療が済んでいないお子様は、この機会にぜひ治療をお願いします。今後学校では、11月8日の「いい歯の日」あたりに、各家庭で、歯垢染色剤を使った歯みがき自主学习を予定しております。その際は、お子様が正しくみがけているかのチェック等、ご協力をよろしくお願いいたします。

眠育講演会を開催します！

生活習慣を見直し、より健康に過ごせるように、良質な睡眠習慣を身につけるために開催します。**保護者の方もぜひお越し下さい!!!**

「良質な睡眠時間の確保を目指して」

- 期日 10月13日(金)
- 時間 13:25～(約90分間)
- 対象 全校生 保護者
- 場所 二中アリーナ
- 講師 NPO法人 里豊夢わかさ 理事長 前田 勉氏

※全国の講演活動に
引っぱりだこの先生です!